



特集

今年も「キュウリビズ」で 暑い夏を乗り切ろう!!

東北6県合同 キュウリビズイベントが 開催される!!

夏秋キュウリの消費拡大を促進するための「キュウリビズキャンペーン」が、今年も東北6県合同により開催されました。この「キュウリビズ」の取組は、平成18年に福島県本部が県単独でスタートしてから、今年で10年目を迎え、今では多方面に渡り定着したキャンペーンとなっております。

今年は海の日明けの夏秋キュウリの最盛期および夏休みの開始に合わせて、7月22日に東京で各種イベントを開催いたしました。

この日の早朝には、毎年恒例となっております、大田市場における東北6県合同での「キュウリビズオープニングセレモニー」を開催しました。買参人に、木桶に氷水でキンキンに冷やしたキュウリを東北各県自慢の味噌を付けて、一本まるごと召し上がっていただく、試食宣伝も行い、瞬く間に試食品がなくなりました。東京青果セリ台前のセレモニーでは、東北6県を代表し、JA全農山形の齋藤義紀副本部長が、「夏場首都圏に供給される8割のキュウリが東北産です。今年も今が旬の東北産キュウリを沢山食べて暑い夏を快適に乗り切りましょう!!」と力強くあいさつされました。

また、同日の11時30分からは、JR有楽町駅前広場「イトシア」において、「キュウリビズ in 有楽町」と題し、消費者に向けたPRイベントが開催されました。当日の読売新聞朝刊にイベント開催が告知されたこともあり、多くの来場者で賑わいました。また、在京テレビ局の取材もあり、この「キュウリビズ」が年々首都圏においても認知されてきていると実感しました。このイベントでは、キュウリのつかみどりピタリ賞や、「キュウリアート」など、来場されたお客様がキュウリに親しみを持っていただけるような催しが多く組まれ、大変盛況のうちに終了いたしました。

今年も暑い夏本番真っ盛り、夏秋キュウリの生産量日本一を誇る「福島県産キュウリ」は今がまさに旬であります。福島のキュウリをたくさん食べて、暑い夏を快適に過ごしましょう!!



1 代表市場懇談会でのJA全農福島猪股県本部部長挨拶
2 オープニングセレモニー山形県本部齋藤副本部長挨拶
3 暑い夏にはキュウリが最高!
4 冷たいキュウリの一本漬をどうぞ
5 大田市場キュウリ試食会